

(様式2(1))

事業所名: 協同の苑六甲アイランドグループホーム

作成日: 2021年 3月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49-22	一昨年、去年とご家族様より外出の機会が少ないという評価を頂き昨年4月より日々の外出を見える化するため、行動記録を作成して受付に設置したり工夫したものの感染症で面会中止で外出もなかなか行けなかったのが現状でした。	地域の活動が再開になれば参加する。日々の生活の中で食材の買い物、掃除、ごみ捨て、畑仕事等、役割としての外出の機会を作る。	①感染予防対策を徹底する ②地域の活動が再開すればマスクを着用して参加する。 ③調理レクリエーションの機会をつくり、買い物は利用者と一緒に行く。 ④ごみ捨て、玄関の掃除等を利用者と一緒にするなど日々の中で役割として実施する。 ⑤余暇の活動で気候や天候が良い時は散歩外出に出かける。	12ヶ月
2	4-3	運営推進会議にご利用様とご家族の参加、地域密着型の知見者が昨年4月より後任がいない。運営推進会議議事録をご家族様の目に留める方法を再度検討する	運営推進会議が客観的な意見を聞き日々の改善点を見出す場になる。理解者を増やし地域で活動が活発になる。	①来年度よりご家族様の参加。 ②知見者は小規模多機能の介護支援専門員に依頼する。 ③職員の会議参加者を管理者以外にも1名参加 ④ご利用様様の参加の実現	6ヶ月
3	8-7	成年後見制度はグループホームオープン以来1度も勉強会を実施していません。	研修はコロナで開催が難しいが、資料など準備してレポート学習を実施する。	神戸市からもらった成年後見制度のパンフレットを資料として活用。レポート学習を実施してもらう。	5ヶ月
4	38-18	今回自己評価を記入する上でまだまだ職員のペースで介護や支援をしている職員が多く、認知症の人の思いを受けとり、個々のペースに合わせて介護、支援する事を風土化していかないと感じました。	認知症委員会、業務改革プロジェクトチームを発足して、認知症ケアの指針を実現するためにどうすればよいかを具体的な行動目標を考え実施する。	今年度作成した認知症ケアの指針を基に具体的な支援をチームで考え実践していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。